熊谷市バリアフリー基本構想（案）に対する意見及び市の考え方

1　意見募集期間
令和４年１月２５日（火曜日）から令和４年２月２４日（木曜日）まで

2　意見の提出者数及び意見の件数
提出者数　　２名
意見の件数　　６件

3　意見の概要及び市の考え方

【意見番号】 該当箇所	意見の内容	市の考え方
【1】 都市計画マスタープラン わかりやすい案内表示	知的障害者や外国人に分かる言葉にしたり、ろう者でも理解できる視覚的な表示にする。抽象的な表現になっているので具体的な言葉で表現してほしい。	P39「表 15　建築物（駐車場含む）共通の配慮事項」や、P41「表 16　都市公園共通の配慮事項」の案内の項目に具体的な方針を定めています。 また、P42「情報のバリアフリー」中に「✧高齢者、障がい者、外国人などでも分かりやすいピクトグラムを活用した案内表示を設置します。」を追加いたします。
【2】 公共交通の方針 心のバリアフリー教育	心のバリアフリーといっても障害別による違いがあるため、障害別による心のバリアフリー教育と明記してほしい。いつも同じ表現になっているから、あいまいな教育になりかねない。	ご意見を踏まえ、P42「4-4　心と情報のバリアフリー」の説明について、「より利用しやすい環境を作るためには、施設整備と合わせて、高齢者・障がい者・子育て世代等の様々な行動の特性や困りごとを理解し、利用を妨げないように配慮し、適切に情報提供をすること、必要に応じた手助けをすることなど、支え合う気持ちを育み、伝えていく必要があります。」と修正します。
【3】 熊谷駅周辺（正面口）	市役所、コミュニティセンター、中央公民館、障害福祉会館 etc への道路あるいは歩道がまだまだ不便であることです。具体的には、段差、歩道内での表示のわかりにくいこと。突然動線が切れてしまうこと。また、心のバリアフリーがまだまだ周知されていな	今後のバリアフリー化推進の参考とさせていただきます。 心のバリアフリーについては、市報等を活用し、周知啓発を図ってまいります。

	いこと。 ワールドカップ（ラグビー）後、コロナ禍で「まちあるき」もできない状況ですが、早く開かれたまちづくりが円滑に進むよう、願うものです。 各施設については、改善が進むようですからここでは触れません。	
【4】 熊谷駅周辺（南口） 」	市立図書館、荒川公民館、文化センターなど、施設内の動線は確保されていますが、やはり歩道や段差に関して、また駐車場（車椅子用）の周知など、望むものです。	今後のバリアフリー化推進の参考とさせていただきます。 障害者用駐車場については今後作成予定のバリアフリーマップに記載し周知を図っていきたいと考えています。
【5】 籠原駅周辺	さくらめいと周辺は自転車用の歩道、あるいは歩行者の通路などのユニバーサルデザインがまだおくれている。前々から言われていることですが、一般の人にとっても、ベビーカーや松葉杖使用の際、レンガ状の石畳は通行しにくいのではないでしょうか。経費の問題もあるし、それぞれのケースがあるかとは思いますけれど（車をどこにおけるかによる）	さくらめいとを含む籠原駅周辺地区は、今回の改定で新たに重点整備地区に定めました。各生活関連経路及び生活関連施設については、特定事業計画を定め、バリアフリー化を進めてまいります。
【6】 秩父線	これからパスモも導入され無人化が進むようですが、バリアフリーの観点もご配慮くださるよう願います。	事業者に対し、バリアフリー対応が継続されるよう働きかけてまいります。